

— Full Moon Live Special —

魅惑のインド音楽と古典舞踊の夕べ

満月の一夜、インド音楽と古典舞踊の調べに乗って日常の意識を、はるか時空を超えて西域の亜大陸、地平線の彼方へと解き放つ快感に酔いしれてみてはいかがでしょうか。



[出演]

花の宮 祐三子

(インド古典舞踊オディッシィ継承者)

+

SAGAR

(サロード奏者)

*サロードは、25弦の深く華やかな倍音が共鳴するインドの弦楽器です。

[演目]

マニキャヴィーナ (サラスヴァティ女神に捧げる吉兆の歌と舞) ほか
精緻に構成されたインド音楽の即興性と古典舞踊の粋をおたのしみください。

■ 8月31日(金) 午後7時開演 (開場6時30分)

■ 会場：まつむし音楽堂

(阪堺電軌上町線「松虫」下車すぐ)

入場料 2000円 (定員20名・要予約、お飲物付)

[ご予約・お問合せ]

♪ 080-5208-4756 (花の宮)

email: odissi@hananomiya.jp

♪ 06-6624-0559 (まつむし音楽堂)

email: salon@ladies.jp

S A G A R (サロード奏者)

北インド弦楽器サロード奏者。中学時代にギターを始め、その後ジャズ音楽理論を学び渡印。2002年よりサロードを始め、インド音楽の巨匠、PT.Teindra Narayan Majundar氏に師事。2011年にはファルカバッド流派の後継者Arif Khan氏と共演するなど国内外で活動。佛教美術研究、煎茶家。

花の宮 祐三子 (インド古典舞踊オディッシィ継承者)

5歳から18歳まで大阪・岡本博雄バレエスクールにてクラシックバレエを習得。1989年、林田鉄氏率いる中国でのモダンダンス公演をきっかけに、少数民族を訪ね歩きインドへ辿り着く。インド屈指のオディッシィダンサー、故プロティマ・ガウリ女史に師事。2004年、インド、スイスでの15年の生活を経て帰国。以後、国内外での舞踊公演、寺社奉納のほか、ダンスとメディテーション、ポディーワークの講師としても活動している。
<http://hananomiya.jp>

～オディッシィとは～

東インド、オリッサ州に伝わるこの踊りの起源は、神に仕える巫女（マハリ）の奉納舞踊に求められます。「動く彫刻」ともいわれ、力強く直線的な男性的要素と優雅な曲線を描く女性的要素が融合。螺旋を描くように展開する音楽とからだの動きが特徴です。



—まつむし音楽堂—

大阪市阿倍野区阿倍野元町1-2
電話：06-6624-0559

- * 地下鉄 谷町線「阿倍野」から徒歩10分
- * 地下鉄 御堂筋線「昭和町」から徒歩15分
- * 地下鉄 四ツ橋線「岸里」から徒歩20分
- * JR・地下鉄 御堂筋線「天王寺」、近鉄南大阪線「阿部野橋」で 阪堺電軌上町線に乗換「松虫」で下車すぐ。(和田タオル2F)